

科目名：看護技術論 I		必修	1単位(45時間)	
(Introduction to Nursing Skill I)				
履修年次/時期：1年次 前期		授業形態：講義,演習		
主担当教員：棚橋 泰之				
主担当教員詳細：実務経験13年。実務経験により、看護技術を学修する上で礎となる知識が修得できるような講義を行う				
担当教員名：飯塚 雅子, 北村 容子, 横正 奈緒美				
学修目的	看護技術の特徴を理解し、技術を適切に提供するための要素、技術の修得に関する事項を学び、後続の「生活援助技術」、「診療補助技術」への学習につなげる。 関連するCP: CP2,CP4,CP5,CP6 科目No. KNz-127			
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 健康支援を通じ、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP			
	到達目標	①看護技術の特徴を説明できる。 ②感染予防の意義及び標準予防策について説明できる。 ③衛生的な手洗いが習得できる。 ④コミュニケーションの構成要素と成立過程、基本的な方法を説明できる。 ⑤看護記録の目的と構成要素を説明できる。 ⑥看護記録についての法的規定及び診療情報の取り扱いについて注意すべき点を述べられる。		
授業概要	看護技術の本質や適切な取得方法、コミュニケーション技術、感染防止の基礎知識、看護記録および報告を学び、基礎技術を習得していく過程の基盤とする。			
評価方法	事前課題 2回×10点=20点 学習成果①②③ 3回×10点=30点 衛生的な手洗い 15点 レポート 2回(15点・20点)=35点 課題に対するフィードバックは掲示で行う。			
予習・復習時間	【予習】1.9時間 【復習】1.9時間			
教科書	系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術 I 医学書院 系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術 II 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版、任 和子ほか、医学書院			
参考書	必要時、提示する。			
オフィスワー連絡先	棚橋 泰之 3号館3階研究室 tanahashi@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします 飯塚 雅子 3号館3階研究室 iizuka.masako@kdu.ac.jp 同上			

実施回	第1回	実施日	時限	班
授業計画	看護技術とは ①看護技術とは何かがわかる。 ②看護技術の特徴がわかる。 ③看護技術の範囲がわかる。 ④看護技術を適切に実践するための要素がわかる。 ⑤看護技術の習得方法がわかる。 次回 講義内容に対する学習成果① (10分/10点) 次回 講義内容に対する学習成果① (10分/10点)	予習	基礎看護技術 I 基礎看護学②序章を熟読する	
		復習	講義内容	
		キーワード	看護技術、看護技術の特徴、看護基礎技術、看護技術を支える態度や行為の構成要素	
授業形態	講義	担当	棚橋	

実施回	第2回	実施日	時限	班
授業計画	コミュニケーション ①コミュニケーションとは何かがわかる。 ②医療におけるコミュニケーションについて考えられる。 ③医療におけるコミュニケーションの重要性が理解できる。 ④コミュニケーションの要素とプロセスについて理解できる。 ⑤グループワークでの学びを発表できる。 ⑥グループワークでの学びをまとめることができる。 レポート① テーマ:ピペットディスカッションを通しての学び (15点) A4版 1200字程度 10.5P明朝体 表紙なし 提出日: 月 日 時 場所:	予習	基礎看護技術 I 基礎看護学②第1章-A-Bを読んで参加する	
		復習	事後課題レポートに取り組む	
		キーワード	コミュニケーションとは、相互作用、医療におけるコミュニケーション、構成要素、成立過程、ミスコミュニケーション	
授業形態	講義,演習	担当	〇棚橋, 飯塚, 北村, 横正	

実施回	第3回	実施日	時限	班
授業計画	コミュニケーション ①コミュニケーションとは何かがわかる。 ②医療におけるコミュニケーションについて考えられる。 ③医療におけるコミュニケーションの重要性が理解できる。 ④コミュニケーションの要素とプロセスについて理解できる。 ⑤グループワークでの学びを発表できる。 ⑥グループワークでの学びをまとめることができる。 レポート① テーマ:ピペットディスカッションを通しての学び (15点) A4版 1200字程度 10.5P明朝体 表紙なし 提出日: 月 日 時 場所:	予習	基礎看護技術 I 基礎看護学②第1章-A-Bを読んで参加する	
		復習	事後課題レポートに取り組む	
		キーワード	コミュニケーションとは、相互作用、医療におけるコミュニケーション、構成要素、成立過程、ミスコミュニケーション	
授業形態	講義,演習	担当	〇棚橋, 飯塚, 北村, 横正	

実施回	第4回	実施日	時限	班
授業計画	看護記録・報告(1) ①看護記録とは何かわかる。 ②看護記録の法的位置づけがわかる。 ③看護記録の記載・管理における留意点がわかる。 ④報告の目的・方法がわかる。 ⑤報告時の留意点がわかる。 次回 講義内容に対する学習成果② (10分/10点) 事前課題①をポートフォリオに整理しておく。(10点) 提出日: 月 日 時 場所:	予習	基礎看護技術 I 基礎看護学②第3章Dを読んで参加する	
		復習	講義内容	
		キーワード	看護記録の構成要素、医療法、保健師助産師看護師法、看護業務基準、経過記録(SOAP、フォーカスチャーターティング)、サマリー、個人情報管理、情報開示、申し送り、SBAR	
授業形態	講義,演習	担当	〇棚橋, 飯塚, 北村, 横正	

実施回	第5回	実施日	時限	班
授業計画	看護記録・報告(1) ①看護記録とは何かわかる。 ②看護記録の法的位置づけがわかる。 ③看護記録の記載・管理における留意点がわかる。 ④報告の目的・方法がわかる。 ⑤報告時の留意点がわかる。 次回 講義内容に対する学習成果② (10分/10点) 事前課題①をポートフォリオに整理しておく。(10点) 提出日: 月 日 時 場所:	予習	基礎看護技術 I 基礎看護学②第3章Dを読んで参加する	
		復習	講義内容	
		キーワード	看護記録の構成要素、医療法、保健師助産師看護師法、看護業務基準、経過記録(SOAP、フォーカスチャーターティング)、サマリー、個人情報管理、情報開示、申し送り、SBAR	
授業形態	講義,演習	担当	〇棚橋, 飯塚, 北村, 横正	

実施回	第6回	実施日	時限	班
授業計画	感染防止の技術(1) ①感染予防の意義がわかる。 ②標準予防策が理解できる。 ③手指衛生の種類と方法がわかる。	予習	感染予防の技術についての事前課題(ポートフォリオ、動画視聴)を行って授業に参加する	

授業計画	④手相術の種類と方法がわかる。 ④衛生的な手洗いを習得する。 ⑤個人防護用具の正しい着脱方法を習得する。 事前課題②をポートフォリオに整理しておく。(10点) 提出日: 月 日 時 場所: 衛生的な手洗い(15点) 次回 講義内容に対する学習成果③(10分/10点)	復習	講義内容、自己練習
		キーワード	標準予防策(スタンダードプリコーション)、手指衛生、必要な防護用具(手袋、マスク、エプロン、ゴーグル)の選択・着脱
授業形態	講義,演習	担当	○飯塚, 棚橋, 北村, 横正

実施回	第7回	実施日		時限		班	
授業計画	看護技術の学習方法 ①看護技術の学習方法について考えることができる。 レポート② テーマ「看護技術概論」を受講しての学びと今後の抱負(20点) A4版 1200字程度 10.5P明朝体 表紙なし 提出日: 月 日 時 場所:	予習	これまでの授業の振り返りを行っておく				
		復習	レポートを作成する				
		キーワード	看護技術、学習方法				
授業形態	講義,演習	担当	○棚橋, 飯塚, 北村, 横正				

実施回	第8回	実施日		時限		班	
授業計画	感染防止の技術(1) ①感染予防の意義がわかる。 ②標準予防策が理解できる。 ③手指衛生の種類と方法がわかる。 ④衛生的な手洗いを習得する。 ⑤個人防護用具の正しい着脱方法を習得する。 事前課題②をポートフォリオに整理しておく。(10点) 提出日: 月 日 時 場所: 衛生的な手洗い(15点) 次回 講義内容に対する学習成果③(10分/10点)	予習	感染予防の技術についての事前課題(ポートフォリオ、動画視聴)を行って授業に参加する				
		復習	講義内容、自己練習				
		キーワード	標準予防策(スタンダードプリコーション)、手指衛生、必要な防護用具(手袋、マスク、エプロン、ゴーグル)の選択・着脱				
授業形態	講義,演習	担当	○飯塚, 棚橋, 北村, 横正				